

グリーンノート



No. 55 11月号 発行日 平成22年11月20日

『早良区緑のコーディネーター連絡会議』(活動報告)

《緑のコーディネーター 砥上久美子さん》

早良区では、緑のコーディネーターとして認知度を上げる事を目的に、今年の7月より月1回集まり打ち合わせを重ねて来ました。打ち合わせを重ねるなかで、活動の場所をどこにするか、いろいろ候補地が上がりましたが、博物館は業者がはいっていないうえ、いろいろな方が見えるのでアピール度も高いのではと、博物館入口の花壇を整備することになり、博物館と打ち合わせをして、了解をいただき博物館入口花壇が早良区緑のコーディネーターの活動の場所と決まりました。

しかし、今年度は資金もないため、それぞれ緑のコーディネーターがつてをたよって、必要なものの提供をお願いして集め、森と緑のまちづくり協会の協力により花壇を整備することになりました。

まず、10月18日(月)に花壇の土づくりをしました。そして、11月8日(月)に花苗を植え込みました。博物館入口がパッと明るくなってすてきな花壇になりました。

協力いただきました緑のコーディネーターの皆様、花そうかい様、森と緑のまちづくり協会様ありがとうございます。今後も定期的に花壇の手入れをしていきますので、緑のコーディネーターの皆様の協力をよろしく願います。



10月18日土づくりを行う



花苗を前にデザインを考える



花苗を配置し植え込みを行う



ボリュームがある花壇が完成

目次

- ・早良区連絡会議 1
- ・グリップキャンペーン 2010体験講座 2
- ・ガーデニングワールドカップ 2010カガキ 3
- ・第3回花づくり講座 4
- ・西区小戸公園花植え 4
- ・藤の瘤は癌の薬 5
- ・日本人の観光旅行の原点 5
- ・うれしいお便り紹介 5
- ・東区育苗作業 6
- ・福岡市植物園からの お知らせ 6

記事投稿のしかた

本誌に記事を載せたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面(メール可)で提出してください。記事の量によっては、重要箇所のみ掲載となります。活動参加者募集等を行う場合は、必ず連絡先、連絡方法を明記してください。12月号(12月20日午後発行)への投稿の切日は12月10日です。それ以降の投稿は2月号への掲載になります。みんなが気持ちよく新聞を利用できるようルールを守りましょう。

グリーンノートのバックナンバーは協会ホームページに掲載しています。

<http://www.mori-midori.com>

(発行元/事務局)

福岡市住宅都市局
公園緑地部緑化推進課
TEL 7 11-4424
FAX 7 33-5590
(財)福岡市森と緑のまちづくり協会 みどり課
メールアドレス:
anju.t@mori-midori.com
TEL 8 22-5832
FAX 8 22-5848

グリーピキャンペン2010

～ ご協力ありがとうございました～



今年も緑のコーディネーター体験講座を開催しました。

10月31日（日）

【カラーサンド講座】

担当：西村愛子さん、木戸美恵子さん、北川満理子さん

《緑のコーディネーター 北川満理子さん》

開催場所の植物園は30周年という大きな節目の年ということで、いつもよりまして、いたるところ美しい花や緑で飾られとても華やかで、すばしかったです。当日は、無料開園ということで朝早くからたくさんの方で賑わっていました。

朝の準備に時間がかかったせいか、最初は人がまったく集まらず、心配しましたが、1人、2人作っている方を見て、少しずつ人が集まるようになり、お昼頃に子ども連れの方がどっと押し寄せ、年齢はまちまちでしたが親子で楽しんでいかれる方が多かったです。

びっくりするくらいに、人が人を呼び、ピーク時は5人掛けの大きなテーブルが、臨時で2テーブルつくられ、計3テーブルに！！

対応もおいつかず、どうなることかとあたふたしましたが、用意していた材料もすぐになくなりあっという間のひととき。

しかしながら、みなさん、それぞれに楽しんで喜んでいただけようでした。結果、計70人ちかくの方が、それぞれ個性ひかるオリジナルの作品をつくれ、こちらもいろんな作品を見られて楽しませていただきました。

ちょうど終わろうとしている3時頃から雨が降りだし神様も応援してくれたよう。関係者、スタッフのみなさんに支えていただき、楽しい秋の日のよい思い出ができました。ありがとうございました。



好きな色を4色選んでカラーサンドを入れていきます



好みの石を敷いて出来上がり

10月30日（土）

【多肉植物寄せ植え講座】

担当：鈴木國夫さん、坂本咲子さん



10月30日（土）

【ふくよかチップの配布と園芸相談】

担当：石橋啓延さん、小倉国利さん



10月31日（日）

【押し花講座】

担当：泰松雅子さん、田中百合子さん



10月31日（日）

【ハーブのポプリづくり】

担当：長村慶子さん、嶋添裕子さん



ガーデニングワールドカップ2010ナガサキ ～ハウステンボスの秋、花と緑の祭典～



《緑のコーディネーター 坂本咲子さん》

【期日】 10月9日(土)

【場所】 佐世保市ハウステンボス

“花と緑で世界平和を!” この呼びかけに、世界トップガーディナーが国内初めて、長崎・ハウステンボスに集まりました。私が参加したのは、初日でした。

多くの著名人も、世界のガーデニングの全てを観ることができるチャンスは見逃せないと来園されていたのを確認できるなか、そこには魔術師の手によって、母国の名誉と誇りを賭け、最高のガーデニング技術の庭園が出現していました。

☆1班の研修では、ジョナサン・デンビー Jonathan Dendy (イギリス) より直接説明を受けました。

ジョナサン・デンビーは、ビクトリア朝ガーデンのスペシャリストであり、スローライフを愛する者であり、自身のユーバロウハウスガーデンは英国の庭園福祉活動団体に公開されており、数少ないプライベートガーデンの一つとして「グットガーデンガイド」に紹介されています。

☆今回のガーデンタイトル「フランク・テイラー メモリアルピースガーデン」

花園にはステンドグラスの窓があり、これは、第一次世界大戦で戦ったハイウッド出身の14人の住民を追悼するためにつくられたものです。この庭はその内の1人、17歳で入隊し亡くなったフランク・テイラーに送るメモリアルガーデンです。

(1915.8.3 ソムムの戦いでフランクは初めての敵と対した。ソムムの戦いで、100万人もの戦死者を出している。)

庭の奥中央には、高さ2メートルの平和の鳩を手に抱えた天使の石こう彫刻が立っています。また、一面緑に白を基調とした庭に、彫刻の両脇にある壺にはオリーブが植えられています。オリーブは平和を表し、その根元に植えた赤い花々は、“オリーブでさえも血が噴出す”という詩の一節を表現しています。

この庭は平和についてみんなで深く考える場所です。庭に見える白と緑は平和を、散りばめた赤はこれまでに流された血を表しています。庭は大きく左右2つに分けられており、中央に幅広くとった通路はマーブルチップで敷き詰め、花園は3方に囲まれており、俗世から離れたような平和で安らぐ場所でした。

私自身、以前皆で平和の鳩の作品を数か月かけてつくり世界平和を祈った経験を思い出しました。今回の研修を振り返り、あらためて世界の平和を祈るとともに、花と緑を大切に、誰もが緑を平等に満喫できる環境を提唱し、皆の心にゆとりが生まれ、平和で幸せを感じられる世界を目指し次世代へのバトンを確実にしなければならぬと思いました。

追伸：ジョナサン・デンビーは、この庭園作りで日本の技術の高さと徹夜でも行う職人気質に感嘆! その一方で忙しい日本人気質に家庭平和を! と心配しおちゃめな紳士でした。



白を基調にしたジョナサンの庭



素敵な部屋で受講



特別に庭園の中に入れてもらって説明を聞く



庭園で記念撮影

第3回花づくり講座を受講して



《緑のコーディネーター 國松記美江さん》

前回に続きピートパンを使用しての播種は始めてだったので、とても興味深くワクワクするものでした。パンジー、デイジー、金魚草の三種。

今年の夏はいつまでも暑く、温度が下がるのを見計らうのがとても心配でした。波左間先生に診断していただく日を逆算して種をまきましたが、9センチポットに本当に小さな苗。他の方々との成長の差にビックリしてしまいました。

出来が悪いけど折角だから先生にお見せすると「うーん。水のやり過ぎ。次回は5日後が良い」とのお言葉に感謝。熱心な受講生の質問は絶える事なく、あっという間の2時間。何かコツがあるはず。用土、水やり、日光、肥料、温度、ああ私も達人になりたい！ 次回は挿し芽の診断。頭の中は期待でぐるぐる回ります。



皆さん熱心に受講



先生に褒められた優秀な苗



鉢上げは箸でこのように行います

西区緑のコーディネーター 小戸公園花植え

～小戸公園入口にプランターの花植えを行いました～

《緑のコーディネーター 廣瀬裕美子さん》

【日時】 10月22日（金）10：00～12：30

【内容】 プランター10個の植え替え作業

小戸公園の花植え活動は現在、西区緑のコーディネーター8名で取り組んでいます。当日は5名で植え替えを行いました。

事前のミーティングで担当箇所や役割分担は取り決めてありましたので、各自、自分の担当のプランターに花を植えました。花苗は、時間の都合で今回は各自で調達したのを使用しました。

テーマは安らぎと季節を感じる魅力ある花壇づくりです。心をこめて植えました。以前に植えてあったガザニアは奥の花壇に移植して再利用しました。

この活動の全体活動（植え替え等）は年4回行います。他に担当プランターはその都度個人で手入れを行います。日常の水やりは、公園管理者のご好意に甘えてお願いしました。

活動は始まったばかりですが今後、もっと充実した花壇づくりを目標に癒しのスポットを目指していきたいと考えています。

この活動に興味のある方の参加をお待ちしています。



小戸公園入り口のプランター



一人一基のプランターを担当

藤の瘤(こぶ)は癌(がん)の薬

《緑のコーディネーター 中園幸成さん》

九州がんセンターには、大きな藤棚が3個ありました。ながく放置されていたらしく、藪になっていましたが、数年前剪定し、根を切り、少し肥料をやるようにしたら、毎年みごとな花が咲くようになりました。おかげで、患者さんにも、喜んでいただきました。



藤の花は、純日本的な花です。近くには、筑紫野市の武蔵寺、八女市黒木の大藤など有名な藤の名所があり、毎年“藤祭り”がおこなわれています。花言葉は、“至福のとき”“恋いに酔う”とか。

本を見ていたら、「ひところ肺病の治療に石油の飲用が流行した。癌(がん)の治療には、藤の瘤(こぶ)が最上だ、といわれたことは現在なお一部に信じられているらしい。けれども、医学の通俗知識に詳しい人は、そのどちらをも信じてはいないだろうと思う。ウンヌン…」山本周五郎エッセイ(昭和39年12月)という文章を見つけました。

そういえば、去年藤棚の1株に瘤(こぶ)が発生しました。ご承知の通り、藤の瘤(こぶ)は早く焼き捨てないと、周辺に伝染して枯らしてしまうし、切り捨てに使ったノコも殺菌しないと大変だと云われています。早速「花の仲間たち」の代表から、当局へ、瘤(こぶ)のできた藤の木の早急な切捨申請をしていただきました。しかし、なかなか許可が下りずに、まだかまだかとヤキモキ致しました。まさか、藤の瘤(こぶ)はがんに効くということで、処分をチュウチョ、そんなことはない、思っていますが…。(今も薬として有効との説もあるようです。)

日本人の観光旅行の原点

《元西日本短期大学教授 岡本 均さん》

秋は観光旅行のシーズンですが、団体行動が多い、お土産を買いまくるなど若干の非難を込めて日本人観光客の特徴が論じられる事があります。

しかし、歴史的な背景を見るとそこには日本文化の起点があるのです。つい最近までは余暇が罪悪視されてきたわけですが、そのような日常生活の中では特権階級を除いて一般庶民の間にレクリエーションに対する要求は弱く、また封建時代に於ける観光やレクリエーションは政策的に禁止される傾向にあり、当然公共的な機関によるレクリエーション・サービスはなされていなかったわけです。そのような中で、寺社詣等の宗教的な行事や農耕行事を隠れ蓑にした観光レクリエーションは大目に見られたようです。たとえば、江戸時代の「遊山」のひな形お伊勢参りは、平安時代の仏典講読会が形を変えた頼母子講などの金融を利用した積立旅費で、長屋などのコミュニティの中で数人の代表者を立てたお参りが行われていたわけですが、その代表者達は何をすべきか？

自分や家族の健康や平穏を願うと同時に、参加しなかった「講」仲間の幸せも願うのです。その証としてのお札(土産)は帰宅後に土産話と共に長屋の各戸に配られることとなります。団体行動も、お土産を買いまくりも日本の伝統文化が起源です。来福者の土産話の中に福岡の風景が良かったという話題が組み込まれるようにしたいものです。



ヨメナ

うれしい お便り紹介

「グリーンノート」10月号で掲載しました、南当仁公民館での“和の寄せ植え”講座を指導された、黒瀬恵子さんにうれしいお便りが届きました。抜粋して紹介させていただきます。こんな素敵なお便りをもらおうと嬉しいですね♪

南当仁公民館 地域コミュニティ支援事業「おきらくくらぶ」寄せ植え講座では、ご指導をいただきありがとうございました。前回同様楽しくわかりやすいご指導に参加者一同感謝です。しかもこのたびの材料も、とてもセンスがよく、さすが緑のコーディネーターさんと大好評でした。お陰で、園芸をとおして地域の方がよりよいコミュニケーションを図ることができました。ありがとうございました。

東区緑のコーディネーター育苗作業（活動報告）

《緑のコーディネーター 熊崎容子さん》

東区の緑のコーディネーター連絡会議で「育苗」をすることになり、10月の初めにアイランドシティ中央公園の温室に下見に行きました。

毎週月曜日を活動日とし、10月18日に、種まきを実施。「今時キンセンカなんて・・・」などと話しながら、キンセンカ・スイトピー・マルチコーレ・デージーの種を蒔き、これが全部芽が出たらどうしようと少し不安な気持ちになりました。

公園の管理事務所の方が水やりを協力して下さり、コーディネーターのメンバーが時々芽の出具合を観察。

2週間後の11月1日、スイトピーとキンセンカの芽がかなり伸びていて、鉢上げ作業をしました。不安が的中し、この日のメンバーは、二人。公園管理事務所の方にも手伝っていただいて、黙々と作業し、スイトピーの鉢上げは何とか終了。お天気も良く、温室内の作業は汗だくでした。

協会事務局からの呼びかけもあり、11月8日の鉢上げ作業には、14人が集まりました。中には、公園の近くに住んでいる一般の方や、メンバーの会社の方もいらっしゃいました。公園管理事務所の方や協会事務局の方、総勢17人で、キンセンカとマルチコーレの鉢上げ。ポットに土を入れる人、水をかける人、移植する人。楽しく作業しました。この日のポット数は、1000ポット以上ですが、正確には数えられませんでした。作業終了後は、みんなでおいしいハーブティーをいただきました。

公園では十月桜が咲いている一方、紅葉もきれいになってきました。来週は、デージーの鉢上げが待っています。この日は何人来て下さるだろう？

私たちは、弱小集団で、いつも公園管理事務所の方や協会事務局にお世話になりっぱなしで申し訳なく思っています。



10月18日の種まき作業



土入れ担当も大忙し



黙々と鉢上げ作業



大量の苗、これ以外にもまだあります

福岡市植物園からのお知らせ

こんにちは。福岡市植物園です。

朝晩が冷え込むようになり、植物園の紅葉も見ごろを迎えるころです。

そろそろお正月に向けての準備も始めるころになると思います。植物園では、園芸講座『正月を飾る松竹梅の盆栽づくり』を開催します。是非ご参加ください。

○園芸講座○

詳しくはホームページ又は市政だよりをご覧ください

・正月を飾る松竹梅の盆栽づくり 12/12開催（※切11/29）



紅葉樹園の様子

☆植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>